

# 中学歴史プリント（過去問類似）

## 安土桃山時代

名前

得点

/8

問1 16世紀半ばから始まった、主にポルトガル人やスペイン人を相手に行われた貿易を何と呼びますか。 (2026年 岐阜公立入試 類似)

1. 南蛮貿易
2. 日宋貿易
3. 日明貿易
4. オランダ貿易

問2 戦国時代の動乱を収束させ、天下統一を目指した織田信長は、拠点として安土城を築きました。彼が経済を活性化させるために実施した、商工業者の独占権を廃止し、自由な商売を認めた政策は何ですか。 (2022年 岡山公立入試 類似)

1. 楽市・楽座
2. 株仲間の解散
3. 太閤検地
4. 守護・地頭の設置

問3 織田信長の後を継いで全国を統一した豊臣秀吉は、全国の田畑の広さや収穫量を調査する「太閤検地」を実施しました。この政策において、全国一律に生産量を測定するために行われた工夫とその目的について、適切な説明はどれですか。 (2017年 鳥取公立入試 類似)

1. 全国でバラバラだった度量衡（ものさしや柵の単位）を統一し、一つの土地に対して一人の耕作者を登録することで、年貢の徴収を確実にした。
2. 各地の有力な戦国大名が独自に使用していた基準をそのまま認め、各地域の特産品を優先的に納めさせることで、経済の多様性を保護した。
3. 土地の面積にかかわらず一律の税額を定め、農民が自発的に開墾を行うよう促すことで、農業生産の飛躍的な向上を目指した。
4. 寺院や神社が所有していた「不入の権」を正式に認め、調査の対象外とすることで、宗教勢力と連携して社会の安定を図った。

問4 豊臣秀吉が行った朝鮮出兵に際して、多くの朝鮮の技術者が日本へ渡り、薩摩焼や有田焼などの優れた陶磁器の技術が日本に伝わりました。これらの陶磁器も用いられた、当時の「茶の湯」の文化について説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2024年 栃木公立入試 類似)

1. 千利休が「わび茶」の作法を確立し、茶室という限られた空間での精神的な美意識を広めた。
2. 世阿弥が能を大成させ、武士だけでなく民衆の間でも茶の湯と共に流行した。
3. 雪舟が水墨画の技法を確立し、茶室の床の間に飾るための風景画を多く描いた。
4. 足利義政が東山山荘を造営し、書院造の建物の中で貴族的な豪華な茶会を主催した。

問5 戦国時代の有力な大名たちが、キリスト教の布教を許可してまで「南蛮人」と呼ばれたヨーロッパの人々との交流を推進した背景として、最も適切な理由は何ですか。 (2020年 神奈川公立入試 類似)

1. 鉄砲や火薬の原料となる硝石を輸入し、軍事力を強化するため
2. 明から大量の銅銭を輸入し、国内の貨幣経済を安定させるため
3. 仏教勢力を抑えるために、ヨーロッパの新しい思想を国教とするため
4. 日本独自の文化を広めるために、ヨーロッパを日本文化の輸出先とするため

問6 桃山文化において、城郭の内部に金箔や鮮やかな色彩を多用した屏風画が配置された理由や背景として、当時の社会状況をふまえて説明したものとして適切なものを一つ選びなさい。 (2017年 奈良公立入試 類似)

1. 戦国時代から続く争乱を鎮めるため、仏教の慈悲の心を静かに表現しようとしたから
2. 天下統一を進める有力な武将たちが、自らの強大な権力や富を誇示しようとしたから
3. 南蛮貿易によって西洋の油絵の技法が伝わり、日本独自の伝統的な技法が完全に失われたから
4. 幕府が贅沢を禁止する法令を出したため、限られた一部の商人たちの間だけで密かに流行したから

問7 織田信長が安土城の城下町などで実施した「楽市・楽座」の目的と内容について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2026年 神奈川公立入試 類似)

1. 城下町の経済的發展を促すため、独占的な商人の特権であった「座」を廃止し、自由な商取引を認めた。
2. 幕府の財政を安定させるため、有力な商人に「株仲間」という独占的な特権を与えて営業税を徴収した。
3. 農民の反乱を防ぐため、農村から武器を没収し、身分による住み分けを明確にすることで兵農分離を進めた。
4. キリスト教の布教を制限するため、特定の商人による貿易のみを認め、各地に關所を設置して物流を統制した。

問8 16世紀の日本における、新しい技術の導入と政治情勢の変化について述べた文として、背景や影響が正しく説明されているものはどれですか。 (2026年 福島公立入試 類似)

1. ポルトガル人によって種子島に鉄砲が伝えられると、足軽による集団戦法が普及し、織田信長が室町幕府を滅ぼして天下統一を進める原動力となった。
2. 鉄砲の伝来によって騎馬隊を中心とした戦術がより強化され、各地の守護大名が幕府を支える体制を再構築したことで応仁の乱が終結した。
3. 本能寺の変によって室町幕府の最後の将軍が追放されたことで、織田信長による朱印船貿易が本格化し、海外のキリスト教勢力が日本を支配した。
4. 戦国大名が遣唐使を派遣して最新の火器を輸入したことにより、京都の朝廷は権威を取り戻し、戦国時代は短期間で終わりを迎えた。

## 答え合わせ・解説

|    |   |  |
|----|---|--|
| 問1 | <b>答え 1</b><br>南蛮貿易   | この貿易は、当時「南蛮人」と呼ばれたポルトガル人やスペイン人が、東南アジアの拠点を經由して日本に來航したことで始まりました。キリスト教の布教を伴うという、それまでのアジア近隣諸国との貿易にはなかった大きな特徴を持っています。   |
| 問2 | <b>答え 1</b><br>楽市・楽座  | 織田信長は、中世以来の特権団体であった「座」を廃止し、誰もが自由に市場で商売を行えるようにする「楽市・楽座」を実施しました。これにより、城下町に商人を集めて経済的な繁栄を図り、天下統一のための基盤を整えました。「株仲間の解散」は江戸時代後期の水野忠邦、「太閤検地」は豊臣秀吉、「守護・地頭の設置」は源頼朝による施策です。   |
| 問3 | <b>答え 1</b><br>全国でバラバラだった度量衡（ものさしや枴の単位）を統一し、一つの土地に対して一人の耕作者を登録することで、年貢の徴収を確実にした。    | 太閤検地では、それまで地域ごとに異なっていた「枴（ます）」や「ものさし」などの単位（度量衡）を全国で統一しました。これにより、全国の生産力を「石高（こくだか）」という共通の基準で把握できるようになりました。また、一田一作人の原則により、一つの土地に一人の耕作者を検地帳に登録したことで、中間搾取を排除し、農民から直接かつ確実に年貢を取り立てる仕組みを整え、近世の封建社会の基盤を築きました。            |
| 問4 | <b>答え 1</b><br>千利休が「わび茶」の作法を確立し、茶室という限られた空間での精神的な美意識を広めた。                           | 豊臣秀吉の朝鮮出兵は、日本の陶磁器文化に大きな発展をもたらし、それらは千利休が広めた茶の湯の道具としても活用されました。千利休は、きらびやかさよりも内面的な深さを尊ぶ「わび茶」を確立し、安土桃山時代の文化に大きな足跡を残しました。  |
| 問5 | <b>答え 1</b><br>鉄砲や火薬の原料となる硝石を輸入し、軍事力を強化するため   | 当時の戦国大名にとって、合戦の形式を一変させた鉄砲やその原料を入手することは死活問題でした。ポルトガルやスペインの商人はキリスト教の布教と貿易をセットで行っていたため、大名たちは貿易の利益や武器の調達を目的に、領内での布教活動を認めたり、自らキリスト教徒（キリシタン大名）になったりしました。   |
| 問6 | <b>答え 2</b><br>天下統一を進める有力な武将たちが、自らの強大な権力や富を誇示しようとしたから                               | 桃山文化は、天下の統一を目指す武将や、その富を支えた豪商たちが主役となった文化です。巨大な天守閣を築き、その内部を金箔で豪華に装飾することは、自らの支配力や財力を周囲に見せつける目的がありました。これは、中世の仏教的な控えめな美意識とは対照的で、現世での成功や活力を肯定する力強い気風を反映しています。  |
| 問7 | <b>答え 1</b><br>城下町の経済的発展を促すため、独占的な商人の特権であった「座」を廃止し、自由な商取引を認めた。                      | 戦国時代、それまでの商業は「座」と呼ばれる特権団体が独占しており、新しく商売を始める者には障壁となっていました。信長は自らの領地の経済を活性化させるため、これらの特権を廃止して誰でも自由に商売ができるようにしました。これにより、城下町に多くの商人が集まり、物資が豊富に流通するようになりました。選択肢にある「株仲間」は江戸時代中期に幕府が認めた独占組織であり、楽市・楽座とは正反対の性格を持つため注意が必要です。 |
| 問8 | <b>答え 1</b><br>ポルトガル人によって種子島に鉄砲が伝えられると、足軽による集団戦法が普及し、織田信長が室町幕府を滅ぼして天下統一を進める原動力となった。 | 1543年の鉄砲伝来は、それまでの騎馬武者による一騎打ちから、足軽による組織的な集団戦法へと戦い方を変え、強固な城郭の築城を促すなど社会に大きな影響を与えました。織田信長はこの新兵器を効果的に利用し、1573年に室町幕府を滅亡させ、全国統一を目前にしましたが、1582年に本能寺の変で家臣の明智光秀に倒されました。遣唐使は894年に廃止されており、鉄砲伝来の時代とは重なりません。                 |